

木もれ日通信

Komorebi Tsushin

第62号

平成29年7月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。



いつもの散歩道

身体にまとわりつくような大気
ホタルブクロとともに

あの幽かな光を待つてみる

それほど気温は高くないが、部屋は濃厚な湿気に満たされていた。蒸発できない汗が身体を包み、夜着が肌にとわりつく。休むときに降っていた雨はやんだようだ。遠くから蛙の合唱が聞こえてくる。

(こんな夜によく蛍を捕りに行きたっけ)

幼い頃の記憶が不意に蘇ってくる。そういえば蛍を捕りに行ったあのあたりは今、どうなっているのだろうか。そう考えると急に目がさえて、気がついたら月のない暗い道を、懐中電灯で照らしながら歩いていた。左手の土手に、懐中電灯の光に照らされて白い楕円形のようなものがいくつも見える。

(なんだろっ)

近づいてみるとそれはホタルブクロの白い花だった。

釣り鐘型の、野草の花としては大ぶりで蛍も入りそうな花。梅雨の時期、蛍が現れるのと同じ頃に、道ばたなどに咲く。暑さが苦手な一方、日陰でもよく咲いている。同じキキョウ科の野草には、山菜としても利用されるツリガネニンジンなどがある。園芸種としては地中海出身のカンパニユラもある。

不意に風が吹いてホタルブクロたちがユラユラと揺れた。澄んだ、ガラスの鐘のような音が聞こえたような気がした。思わず手を伸ばして、一輪摘み取った。

夜道をなぞ進むと次第に蛙の声が繁くなる。ふと視界を緑色の光が横切った。慌てて懐中電灯を消す。

ぼうっと光ってぼうっと消えてゆくその光は少しずつ増えて、気がつくまでとどろき、光に溢れていた。

(蛍、まだいたんだ...)

光はまるで呼び合うように明滅を繰り返しながら、身体の周りを包むように飛び交う。

(ホタルブクロに、蛍入るかな)

手に持った一輪の花を思い出し、白い花に目をやると、一匹の蛍が止まっている。蛍は花を外側を下へたどり、開いた先端から中へ入ってゆく。そう思う間もなく花の口がスッと閉じた。中で明滅する光が花を黄緑色にぼんやりと光らせている。

どうやって部屋に帰ったのだろうか。蛍を閉じ込めたホタルブクロを一輪挿しに活けた。相変わらずホタルブクロは明滅を繰り返して、真っ暗な部屋をそのたびに明るく照らす。時計は間もなく三時。短い夏は夜はまもなく終わる。

突然、ホタルブクロの花は茎から離れて宙へ飛んだ。明滅しながらゆっくりと上昇し、天井に届く、と思ったその時、花ははじけて、同時に夜明けの光がそれ変わった。

(夢だったのかな)

寝足りない目に映った一輪挿しには花をなくしたホタルブクロ。





お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つぎだて花工房の宝石箱です



◆西戸様（保原町）

ご家族で御祖母様の金婚式、ご両親様の銀婚式
のお祝いをされました。交流館もりもりで時計作りの
体験をされ、思い思いの作品を作っていました。家族それぞれ、いろんな思い出の時を刻ん
でほしいものですね。本当におめでとうございます。



◆月館中同窓会様（月館町）

昭和27年小手中卒の皆さまが同窓会でご利用されました。
以前、皆様で植えた記念樹の枝垂れ桜の前でも記念撮影。
そして宴会では、時間が経つのも忘れて懐かしい思い
出話に花を咲かせていらっしゃいました。今度は記念
樹が満開の時期にぜひお越し下さい。



◆石河様（川俣町）

豊和様、右艶様、ご結婚おめでとうございます。右艶様のお着物姿
素敵でした。会場は皆様からの祝福の言葉と笑顔に包まれていまし
た。末永くお幸せに。



◆福田小学校卒寿同級会様（川俣町）

卒寿（90歳）のお祝いを兼ねて同級会で宿泊され
ました。皆様の健康の秘訣、ぜひ
教えて頂きたいですね。いつま
でもお元気でお過ごし下さい。



◆くにみGGすみれ様（国見町）

ご宿泊の当日と翌日に月館運動場にてグランドゴルフ
で汗を流されました。夕食時、疲れを感じられない程、
仲間同士で熱く語っていらっしゃいました。花工房スタッ
プも皆様の元気に負けないよう頑張りたいと思います。



◆蓬萊町中央寿会様（福島市）

五月の定例会&春季親睦旅行の会場として、花工房を
選んで頂きましてありがとうございます。花工房の周り
を散歩したり、カラオケをしたりと楽しく過ごしてい
らっしゃいました。「また来年!」とお言葉を頂き、来年お
会いできるの事を楽しみにしていますね。



季節の一品 ロースとんかつ夏野菜ソース



—材料 A— (4人分)

豚肩ロース100g …… 4枚
衣(パン粉・小麦粉・卵)… 適量
塩・コショウ …… 各少々

作り方

- ① Aの肉に塩・コショウして、衣をつけて揚げる。
- ② 鍋にBの油・ニンニクを入れて弱火で炒め、野菜を加えて炒めたらトマト缶を加えて弱火で煮込む。塩・コショウで味をととのえる。
- ③ ①のとんかつに②のトマトソースをかけて完成。

※豚肉を鶏肉や白身魚のソテーにしても美味しく召し上がれます。

—材料 B—

玉葱 …… 1個
オクラ …… 4本
ズッキーニ …… 1本
パプリカ赤・黄 各1/2
茄子 …… 2本
南瓜 …… 1/8ケ
トマト …… 2~3ケ
トマト缶(4号缶) …… 1本
ニンニクみじん切り…1~2かけ分
サラダ油 …… 適量
塩・コショウ …… 少々
※野菜はそれぞれ小口切りにする。
※トマトの皮が気になる場合は湯むきする。

厨房のイチオシ!

今回はまずランチの新メニューのお知らせです。

地元の伊達鶏を使った好評の鶏そばに、6月より新たに塩味が加わりました。特製の塩ダレに和風だし(カツオ・飛魚・昆布)、鶏白湯をあわせ、さっぱりとした美味しい塩スープに仕上げました。また、冷やし鶏そばもスタート(期間限定6月~8月)。胡麻ダレで和えた伊達鶏や野菜・煮玉子など、具沢山の一品です。

会食膳も夏メニューになりました。鮎や鱧、夏野菜を用いたお料理をご用意しました。特に伊達鶏に夏野菜のトマトソースを合わせた一品がお勧めです。

ランチと夏の会食膳、ぜひご賞味ください。



◆布ぞうり作り

JA ふくしま未来富成支部女性部のみなさんが、布ぞうり作りを体験されました。足の指にロープを掛け、出だしや鼻緒付けに四苦八苦しながらも、わいわい楽しく完成されました。布ぞうり、夏の台所で活躍ですね。



◆絵手紙教室

毎月開催している絵手紙教室。講師は切り絵作家の和田恵秀先生。参加者が、それぞれに持ち寄った季節の画材を、丁寧に描いていきます。こんな素敵な絵手紙をいただけたら、幸せな気分になれるそうですね。

花々日記

此岸・彼岸

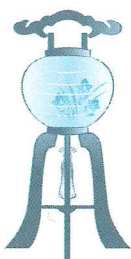
七月の十五日はお盆。今は月遅れでお盆の行事を行う地域が多いでしょう。以前は座敷に精霊棚を飾り、迎え火を焚いて亡くなった人祖先を我が家にお迎えする光景が見られました。何でも簡略の現代、そのような風習もだんだんと見られなくなってきたように思います。

お盆になると、月館にも都市部から多くの方が訪れます。故郷を離れた人が、あるいは親の故郷にやってくる、祖父母を始めとする親戚、知人と旧交を温める時期でもあります。そのような方々が暮らす都会と、月館のような田舎の違いはたくさんあります。お墓が身近にあるかどうかは大きな違いではないのでしょうか。

七月の十五日はお盆。今は月遅れでお盆の行事を行う地域が多いでしょう。以前は座敷に精霊棚を飾り、迎え火を焚いて亡くなった人祖先を我が家にお迎えする光景が見られました。何でも簡略の現代、そのような風習もだんだんと見られなくなってきたように思います。

田舎では農地の一角や、道ばたに墓地があることが珍しくありません。春秋のお彼岸やお盆の時期など、新しい花が供えられているのをそこで見ると、あの世とこの世の距離は、それほど遠いものではないのだと感ずることがあります。また、田舎で暮らすには必須科目である、機械を使った草刈をしていると、草むらに潜む小動物へビやカエルなどを、知らずに傷つけてしまうことも珍しくありません。まして畑や田んぼを作っていれば、害虫

田舎では農地の一角や、道ばたに墓地があることが珍しくありません。春秋のお彼岸やお盆の時期など、新しい花が供えられているのをそこで見ると、あの世とこの世の距離は、それほど遠いものではないのだと感ずることがあります。また、田舎で暮らすには必須科目である、機械を使った草刈をしていると、草むらに潜む小動物へビやカエルなどを、知らずに傷つけてしまうことも珍しくありません。まして畑や田んぼを作っていれば、害虫



日々暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定

講師：瀧田 勉先生 (ハーブとスローライフの研究者)
参加費：1,800円 (材料費・税込)

7月31日(月) ハーブ&スパイスカレー
8月28日(月) フレッシュハーブペースト
9月25日(月) ハーブソーセージ・ハーブデリカ

つきだて花工房

9月9日 (土)

—なつかしい旋律が
里山を吹き抜ける—

花薫る郷音楽会



竹林 良
(チェロ)



福田貴子
(ヴァイオリン)



出口貴子
(ヴィオラ)



齋藤由香
(フルート)



高山宏基
(ヴァイオリン)



五十嵐裕子
(チェンバロ)

時間 1回目 午後2時開演 (午後1時30分開場)
2回目 午後7時開演 (午後6時30分開場)

会場 つきだて花工房

料金 大人2,000円・中学生1,000円・小学生500円

プログラムより

ジョブリン：「菊の花」(弦楽四重奏&フルート)
モーツァルト：「フルート四重奏曲第一番第1楽章」(フルート&弦楽三重奏)
アンゲラー：「おもちゃの交響曲第3楽章」(弦楽三重奏)
バッハ：「無伴奏チェロ組曲第一番プレリュード」(チェロ・ソロ)
バーセル：「アルマンド、サラバンド、メヌエット等の舞曲」(チェンバロ・ソロ)

お客様の声

◆卒業後、伊達市(月館)を離れて五十五年余り。毎年一〜二回、月館へ帰ってお世話になつて居るのが花工房。月館のこの施設が有り、ありがたいです。ここに泊まって、翌日、交流館もりもりで果物、野菜を買って帰るのが楽しみです。これからもお世話になります。

【花】いつもご利用いただき、ありがとうございます。これからは桃の季節、おいしい福島の桃もぜひご賞味ください。

◆お花がいつもきれいですね。花工房の名前の通りこれからもいつ来ても美しい里であることを希望しています。花工房ですべての疲れをゼロにして、又明日から介護・仕事に頑張ります。

【花】嬉しいお言葉ありがとうございます。今以上にお客様に喜んで頂けるよう、花工房スタッフ全員で邁進して参ります。またのお越しをお待ちしております。

木もれ日通信バックナンバー

つきだて花工房のホームページでは木もれ日通信創刊号から全てのバックナンバーをPDFでご覧いただけます。「つきだて花工房 木もれ日通信」で検索するか、つきだて花工房ホームページのトップページ右側にあるバナーをクリックしてください。また、ホームページ、Facebook ページ、Twitter ではイベント情報等を随時更新しております。ぜひご利用下さい。

読者プレゼント

ラベンダーの香り♪
アイピローを
3名様にプレゼント



今回の木もれ日通信読者プレゼントはアイピローを3名様にプレゼント！神経の高ぶりを抑え、気分をリラックスさせる効果があるとされるラベンダーの花をふんだんに使っています。

今回から、応募券ではなく、キーワードをお書きください。また、Eメールでもご応募いただけるようになります。どちらも、キーワード・氏名・郵便番号・住所・電話番号・木もれ日通信62号で印象に残った記事とご感想をお書きの上、ご応募下さい。宛先は「ちちらハガキ」
〒960-0903 福島県伊達市月館町下渡字寺窪7
つきだて花工房 木もれ日通信読者プレゼント係
【Eメール】
flower@t-hanakobo.jp タイトルに「木もれ日通信62号読者プレゼント係」と書き下さい。

なお、当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。また、いただいた個人情報につきましては

て花工房が責任を持って管理・保管し、プレゼント及び当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために使用させていただきます。そして今回のキーワードは…
「ホタルブクロ」
たくさんのご応募、お待ちしております！



編集後記

最近、活動量計というものを愛用。歩数だけでなく消費カロリー・睡眠の質まで教えてくれる。まさにパーソナルトレーナー！。〈つきはな〉

木もれ日通信62号より、お客様ノートを担当させて頂きます齋藤です。宜しくお願致します。さて、まもなく子供たちの夏休み突入です。どこの行こうかなあ〜と私は未だ考え中なのです。〈由〉

夏、高校野球の季節です。特に甲子園が大好きです。ただひとつ困ることが。試合終了後の球児の涙に貰い泣き。年ですかね。〈あか〉

摘果した青い桃のジャムと熟した桃のジャム、毎年友人が作ってくれます。どちらも美味しいので、今年もいただくのが楽しみです。〈厚子〉

休館日 8/22、9/5、10/17
(全て火曜日)

8/8 (火) 8/22 (火)
9/6 (水) 9/20 (水)
10/6 (金) 10/20 (金)

【満月の夜】
月の明かりで疲れた心を癒したい。
いままぐカレンダールにチェック!!

ムーン
セラピー